

平成28年度 事業計画書

当センターは、広く県民一般に対し、原子力及びその平和利用に関する知識の普及啓発を行うことにより、原子力に対する認識や知識を高め、原子力の平和利用の円滑な推進に寄与することを目的として、次の事業を実施する。

1 エネルギーの明日が体験できる「ふれあい広場」の維持管理及び運営

- ① 愛媛県伊方原子力広報センター展示ホールの土・日開館を通じた効果的運営により、見学者の確保と原子力に対する知識や認識の高揚に努める。
- ② 設備の保守点検と適切な修繕を行いホールの環境整備に努める。
新たに、ホールの魅力を高めるため、電気エネルギーに係る科学実験道具を配置(来館児童用)。

2 原子力及びその平和利用に関する広報研修活動

- ① 八西地区を対象とした八西CATVを利用しテレビ放送を行う。他に、新聞折込みチラシでの広報も行い広くマスメディアを活用した広報に努める。
新たに、周辺市町を対象としたCATVを利用しCM放送を行う。
- ② 原子力や放射線をテーマとした「講演会」を地元の伊方町や、松山市、大洲市で開催し、広く原子力に対する知識の普及に努める。
新たに、30km圏内市町において「講演会」を開催する。
- ③ 新たに、「教育職員向け放射線セミナー」を伊方町で開催し、放射線に関する正しい知識の普及に努める。
- ④ 新たに「自治体職員向け放射線セミナー」を30km圏外自治体で開催し、放射線に関する正しい知識の普及に努める。
- ⑤ 「子ども放射線出前セミナー」を30km圏内5市2町の小中学生を対象に開催し、放射線に関する正しい知識の普及に努める。
- ⑥ 「放射線出前セミナー」を伊方町内の各種団体を対象に開催し、放射線に関する正しい知識の普及に努める。
- ⑦ 伊方発電所を主とした「見学会」を開催し、原子力に対する知識の普及に努める。
- ⑧ 伊方町・八幡浜市の小学生を対象に「写生大会」を開催し、体験を通し

て原子力に対する知識の普及に努める。

- ⑨ 毎年7月に行われる「きはなはいや伊方まつり」に実験ブースを出展し、子どもを中心に楽しみながら放射線に対する知識の普及に努め、併せて祭りへの協賛をする。

3 原子力及びその平和利用に関する各種資料の作成・刊行

- ① 広報用リーフレットえひめ原子力だより「それいゆ(太陽)」を年4回発行し、30km圏内に全戸配布するとともに、県下全市町の自治体及び県下のコンビニエンスストアやスーパーへも配布し、原子力広報の充実に努める。
- ② 広報用パンフレットを購入し、見学会参加者等に広く配布し広報に努める。
- ③ 広報用カレンダーを作成し、伊方町全戸に配布を行うなど、日々の生活での広報と併せて地域産業活性化を支援する。
- ④ 広報用「うちわ」を作成し、伊方町内各地区の夏祭り等で配布するなど、広報に併せ地域行事を支援する。
- ⑤ その他各種資料を作成配布し、地域に根ざしたきめ細かな原子力の普及啓発活動に努める。

4 原子力とその平和利用に関する各種資料の収集及び公開

- ① 原子力関連の新聞記事を電子ファイリングシステムに長年登録保存し、この情報を公開すると共に提供する。
- ② 原子力関係図書、ビデオテープ等を整備し公開する。
- ③ ホームページを更新し、タイムリーな情報公開に努める。
- ④ インターネットにより広く情報を発信・収集する。

5 原子力施設見学会の指導及び実施

当センターと、伊方発電所、伊方ビジターズハウス、原子力保安研修所、愛媛県オフサイトセンター、愛媛県原子力センターなど、原子力関連施設と連携し見学会を実施することにより広く県民への広報に努める。

6 その他目的を達成するために必要な事業

原子力広報機関連絡会に参加し、原子力の専門的な学習や効果的な広報活動についての情報交換を行い職員の資質の向上に努める。